

リフォームの際、ご相談頂く事も多い「収納」。心地の良い住まいの為には収納スペースの広さだけでなく、そこに住む人の生活スタイルに合った、使い勝手が良いプランニングをすることが大切です。弊社でのリフォーム実例をご紹介します。

CASE1 生活感を隠す小さなL字型の壁



玄関とダイニングコーナーを区切る「ルーバー付きの小壁」。カレンダーや壁掛けテレビのスペースにもなっています。光を遮らないよう上部をルーバーにしたので、玄関にも窓からの光が届きます。



→上部をルーバーにすることで光を遮らず明るい空間に。キッチンからは格子越しに玄関の様子が見える。



←玄関から奥のリビングまで見通せるが、生活感を絶妙に隠すL字型の壁

CASE4 システム家具を活用し使い勝手◎のクローゼット



←仕舞い方に合わせて棚板やパイプ、引出しなどのパーツを自由に組合せ。部材での対応が難しいスペースは造作収納で補えば、より使い勝手UP!!



→様々なアイテムで組合せ自由なパナソニックの収納パーツ「アイ・シェルフ」。

玄関プラン キッチンプラン

システム家具のメリット&デメリット

<メリット>

- 規格化により材料費を削減するなど、低コストが実現している。
- 各メーカーショールームで実物を見る事が出来る為、仕上がりのイメージがしやすい。

<デメリット>

- システムに合わない場合、調整材での調整が必要。特注対応が可能なものもあるが、特注の場合はコストが大幅に上がってしまうこともある。
- 採用する為には、ある程度の広さが必要となる。



←インターホンやスイッチ、電話機などのスペースにもなっている。



→冷蔵庫を隠すL字型の小壁。視覚的にキッチンとリビングを区切る役割も果たす。

ここも注目!!

部屋の二方向を活用した壁面収納



お施主様ご夫婦の「収納スペースが少なく、生活感が丸出しの空間となってしまう」と言うお悩みは、洋室の二面の壁を収納スペースとして活用し解決!

玄関には置きっぱなしになりやすいベビーカーや傘を仕舞う収納を設けました。



ベビーカーと傘の収納スペース

CASE5 人も風も通り抜けられるウォークスルークローゼット

和室と洋室の間に設けたウォークインクローゼット。どちらの部屋も行き来できるように、和室側、洋室側両方に出入口を設け、ウォークスループランに。風通しも良く為、収納環境も良好です。

→片面は仕切りを立てて、棚板を取付。上部は布団収納。下部は様々なものを置けるように。

↓片面は洋服等を掛けられるようポールを通し、下部はお手持ちの家具を置くスペースに

システム家具のメリット&デメリット



ウォークスループランは、収納動線が良く、風通しも◎。



CASE2 一見「無垢の壁!？」と思わせるリビングの壁面収納



↑一見「無垢の壁」を思わせる壁面収納。

→例えば、掃除機を取出したらすぐに使えるよう収納スペースにコンセントを設置...など収納力だけでなく、使い勝手も考えた収納に。

リビングに壁面収納を造作。収納力だけでなく、使い勝手も考慮しました。扉は無塗装、取手を見せないようにし機能性とデザイン性を兼ね備えた壁面収納となりました。



造作家具のメリット&デメリット

<メリット>

- 建物に造り付ける為、耐震性が高い。
- 規格サイズが無く、空間や使う人に最適な形が造れる為、収納力も高く、無駄の無い収納計画が出来る。



<デメリット>

- オーダーで職人が製作する為、既製品より割高になる。
- 仕上がりのイメージが想像しにくい。
- 設置後、移設や変更をするのが難しい。



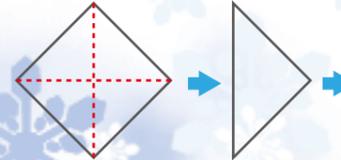
紙1枚で出来る!! 手作りクリスマス飾り

用意するもの

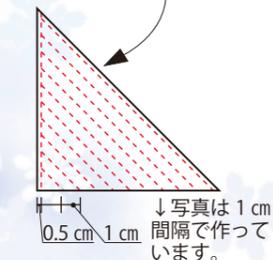
- ・正方形の紙
- ・定規
- ・カッター
- ・のり



1. 正方形の紙を三角形に4折にします。



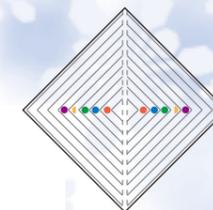
2. 4折した1面に切り込みを入れる為の下線を引きます。



ポイント
紙の大きさや線の間隔は自由に線の間隔が小さいほど、繊細な印象になります。紙質も厚紙などしっかりした用紙の方がより立体感出ます。

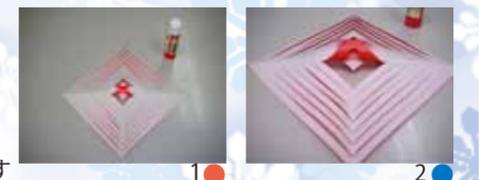


3. カッターで下線に沿って切り込みを入れていきます。終わったら、広げます。

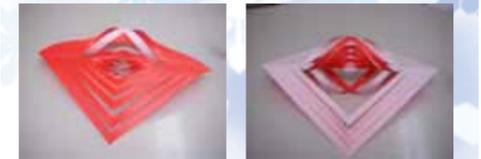


4. 中央部分から図の○印の順番にノリ付けしていきます。1~3を裏で留めたら、後は裏表で交互に留めていきます。

1 ● 2 ● 3 ●
4 ● (裏で留める)
5 ●
*4と5を繰り返す



3 ● 4 ● (裏で留める) 5 ●



5. 完成!!

季節の花を飾ることで、クリスマスだけでなく年中楽しむことができますので、お好みにアレンジをお楽しみ下さい。



↓お正月バージョン



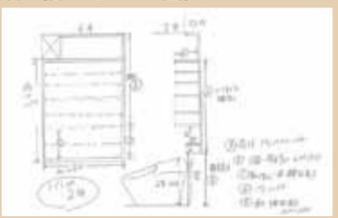
CASE3 小さな空間を賢くフル活用! 僅かなスペースを利用したトイレ収納

トイレの限られた空間でも、収納量や使い勝手の良さがアップするよう、部分的に奥行きを深さを変えた棚をプラン、造作しました。

トイレのフタを上げた際に棚と干渉しないよう、フタの上げた高さから梁下までのスペースは、奥行き32~33cm程度に。それ以外の棚は奥行き12~13cm程度に。天井には点検口がある為、最上部は取外し出来るようにしました。

秘! 収納設計プラン図

この収納の為に担当者が描いたプラン図。



わずかなスペースだからこそ...無駄なく空間を活用できるようにしっかりプラン!!

